平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)2016 野外コンサート事業		
主　催　者	公益財団法人パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会 理事長　秋元　克広		
事業分野／事業タイプ	教育・文化・国際交流 ／催事・招へい	実施日時 ・場所	平成28年7月16日～8月9日 札幌市 札幌芸術の森野外ステージ
実　施　内　容			

１．PMFオープニング・コンサート
　7/16(土)　13:00開演　【入場者数4500人】
　演奏曲目：弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品77-2「雲がゆくまで待とう」/
　　歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」によるハルモニームジークから　ほか
２．ピクニックコンサート＜レナード・バーンスタイン・メモリアル・コンサート＞
　8/7(日)　12:00開演　【入場者数8500人】
　■第１部
　　演奏曲目：コンサート・ファンファーレ/シンコペーテッド・クロック　ほか
　≪ヴォーカル・アカデミー・メンバーによるオペラアリア≫
　　演奏曲目：歌劇『セヴィリアの理髪師』から「俺は町のなんでも屋」　ほか
　■第２部
　　演奏曲目：交響曲 第4番 イ長調 作品90「イタリア」　ほか

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	水上勉来町55周年記念　岩内町文化・歴史発信交流事業		
主　催　者	岩内町文化団体協議会　会長　坂井　弘治		
事業分野／事業タイプ	文化・生活／催事・派遣	実施日時・場所	平成28年4月10日～7月20日 福井県おおい町 総合町民センター 水上勉記念館
実　施　内　容			

○舞台発表　6/19　18:30　【観客200名】　おおい町総合町民センター　大ホール
・高齢者合唱団体、おおい町女声合唱団の合唱
・日本最古のリードオルガン演奏
・村田音楽教室　フルート・オカリナ演奏
○展示　6/19　18:00～　6/25　17:00　おおい町総合町民センター　ロビー
・世界キルト作家100人に選ばれた岩内在住のキルト作家、日下部美紀およびその生徒たちの作品20点
・書道サークル「北方墨人会」作品３点
・岩内高校書道部　作品19点
・深雪アートフラワー　作品１点
・昭和36年文芸春秋社岩内講演会　水上勉氏来町関係写真・昭和29年岩内町大火関係写真および明治から現代に至るまでの写真　計24点
○講演会　6/18　16:00　【聴衆50名】　水上勉記念館　若州一滴文庫
「飢餓海峡誕生秘話」　講師：坂井弘治
○交流会　6/19　夜
主催：おおい町教育委員会
昭和36年9月におおい町出身の水上勉氏が来町したことに始まる両町の交流を深める

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	人形劇団ひよっこ創立60年 他　記念公演		
主　催　者	人形劇団ひよっこ　代表　木田橋　くに子		
事業分野／事業タイプ	教育・文化・生活 ／催事・招へい	実施日時 ・場所	平成28年4月2日～9月24日 北海道内各地 札幌市 やまびこ座 こぐま座
実　施　内　容			

〇記念公演

１．7/2、3　やまびこ座にて

　大阪人形劇団クラルテ、四国わけちゃんの公演と共に人形劇団ひよっこの作品を、２劇団と札幌のアマチュア人形劇団とのコラボ公演が実現し、ロビーコンサート、平佐修氏ワークショップを開催。

２．8/18～21　こぐま座にて　ロングラン公演　日替わり作品の上演

３．9/2～4　やまびこ座にて

　元代表・加藤博生誕85年記念公演に、ひよっこの作品を上演。また２日には人形劇場たけのこ・池原氏による人形劇アラカルトの公演(講演)も行った。

〇道内各地の保育園・幼稚園での公演(10カ所)

石　狩：5/12　花川永泉寺、5/30　花川マリア幼稚園

札　幌：5/22　24軒南保育園、6/28　ふきのとう文庫、7/4　三和新琴似保育園、

　　9/15　愛和えるむ保育園、9/30　札幌夢保育園

仁木町：6/10　仁木町公民館

島　松：9/17　島松幼稚園

京極町：9/27　京極町保育園

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	札幌宝生会創立70周年記念 能公演事業		
主　催　者	札幌宝生会　会長　佐々木　裕志		
事業分野／事業タイプ	文化・生活／催事・招へい	実施日時・場所	平成28年4月15日～8月31日 札幌市教育文化会館
実　施　内　容			

7/31　札幌市教育文化会館　大ホール　屋根付き能舞台

○第一部　10:00～12:30　【観客約300人】
　会員による演能会(地謡･囃子方はプロ能楽師)
・祝言謡　連吟１番「邯鄲」
・舞囃子６番「吉野静」「熊野」「藤戸」「井筒」「松風」「高砂」
・仕舞９番「難波」「半蔀」「花筐」「葵上」「野守」「船弁慶」「田村」「班女」「歌占」

○第二部　13:30～16:50　【観客約750人】
・能　「八島」　　シテ　當山孝道師他
・狂言「昆布売」　シテ　山本則重師他
・能　「巻絹」　　シテ　大坪喜美雄師他

伊藤組100年記念基金

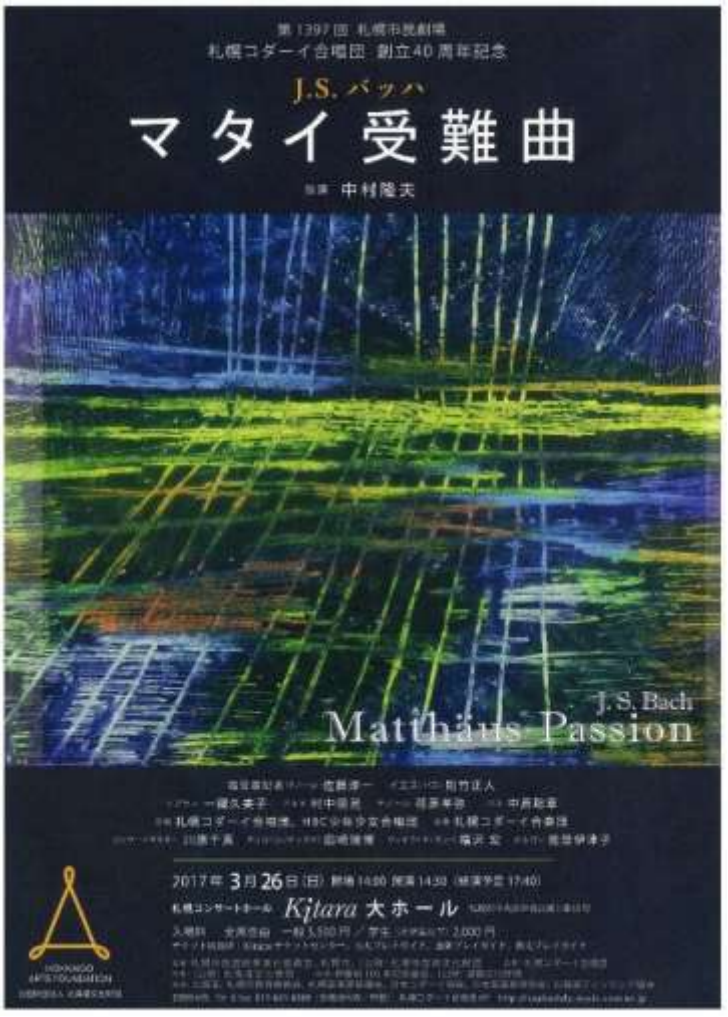
平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	札幌コダーイ合唱団創立40周年記念 J.S.バッハ「マタイ受難曲」演奏会		
主　催　者	札幌コダーイ合唱団　中野　道晴		
事業分野／事業タイプ	文化・生活／催事・招へい	実施日時・場所	平成28年5月1日～29年3月31日 札幌コンサートホール Kitara　大ホール
実　施　内　容			

○J.S.バッハ「マタイ受難曲」(原語版全曲)演奏会
　3/36　キタラ　大ホール　【入場者数1265人】

　ドイツ語歌詞の訳詩を字幕掲示することで、聴衆の音楽理解を助けた。
　合唱団員は公募により40名を超える応募があり、オーディションを経て参加。またHBC少年少女合唱団から小学生30人が出演。
　合奏団はバロック演奏において国内を代表する実績をもつ招聘演奏家と地元で活躍する演奏家によって編成。



平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	アポイ岳ジオパークユネスコ世界ジオパーク登録記念 第１回北海道ジオパークガイド交流研修会		
主　催　者	北海道ジオパークガイド研修交流会実行委員会 実行委員長　三松　三朗		
事業分野／事業タイプ	生活・産業／ 催事・派遣・招へい	実施日時 ・場所	平成28年4月1日～10月31日 遠軽町

実　施　内　容

○第１回北海道ジオパークガイド交流学習会　9/17～18　白滝ジオパーク（遠軽町）ほか

平成27年度アポイ岳ジオパークが道内２つ目の世界認定となったことを受け、道内のジオパーク同士の交流を通じ、各地区のジオパークが横断的に情報共有やガイドのスキルアップをはかりネットワークの強化により地域資源(ジオサイト)の活用力を高める。

日本ジオパーク再認定を受ける「白滝ジオパーク」において、そのガイドジオパーク文化伝承学習会や他地域とのガイド技術向上について連携を図る。またその連携成果について取りまとめ、10月に開催される日本ジオパーク全国大会にて発表する。

＜スケジュール＞

9/17　拠点施設見学

アイスブレイク(謎解き)/３分間ナッピング(石器づくり実演＆調理)/館内見学ツアー/研究発表会・交流会

9/18　ジオサイト巡検

ｺｰｽ1　インガルシ(瞰望岩)マチブラジオツアー　ｺｰｽ2　いこいの森の取り組み

○洞爺湖有珠山ジオパークの中核をなす民間団体である「NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会」では全道一区での交流を図るために各地ジオパークとの連絡を取り合ってきたところであるが、更なる民間組織同士の交流とガイド技術の向上を目指し、白滝ジオパークの学識経験者やベテランガイドを講師に、フィールドワークの後、意見交換会を実施する。

ポスターセッション等、全国のジオパーク関係者対象に地域連携によるガイド交流会の成果について発表する。

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	第５回ハイメスオーケストラワークショップ		
主　催　者	NPO法人北海道国際音楽交流協会（ハイメス） 理事長　藤田　久雄		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年4月1日～8月31日 札幌市
実　施　内　容			

○編成
　プロとしてはハイメスアーティスト会員、札響メンバー、同OB、地元で活躍しているフリーの奏者、全道から公募するアマチュア奏者を加えて84名のオーケストラを編成。
○指揮者
　新田ユリ、コンサートマスター：前半/井上澄子（札響）、後半/大平まゆみ（札響コンサートマスター）
○日程　※３回の練習とゲネプロは一般公開
・アマチュア奏者募集（３～４月、4/18締切）
・アマチュア奏者決定（４月下旬）
・セクション別練習（７～８月　２回　札響メンバー、同OBの指導による）
・総練習（公開）　8/8～10　15:00～20:30
　札幌大学 リンデンホール ウエスト カモール
◆演奏会　8/11　ちえりあホール　12:30　ゲネプロ（公開）　17:00　開演
　〈リスト〉交響詩「前奏曲」/死の舞踏「怒りの日」によるピアノと管弦楽のためのパラフレーズ、〈シューベルト〉「ミニョンの歌」より「この装いをお許しください」/糸を紡ぐグレートヒェン、〈リムスキー=コルサコフ〉交響組曲「シェエラザード」

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	第10回「北海道現代具象展」		
主　催　者	北海道現代具象展実行委員会　代表　佐藤　武		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年6月1日～29年1月31日 札幌市 北海道立近代美術館 その他道内各地
実　施　内　容			

◆第10回「北海道現代具象展」
　10/29～11/8　北海道立近代美術館（休館日含み10日間）
・絵画作品の展示(日本画、油彩画、水彩画等106点)
　出品者　実行委員/主に道内在住作家24名　招待作家31名
・その他作品の一部移動展
　神田日勝記念館 11/15～23（休館日含み８日間)/室蘭市民美術館 12/6～11（６日間)/深川市アートホール東州館 12/16～28（休館日含み11日間)/千歳市民ギャラリー 1/7～15(休館日含み８日間)
○図録作成
　A$変形サイズ・カラー57ページ、モノクロ27ページ、発行日11/29、発行部数500部、配布先は北海道美術関係者・出展者・観覧者に販売。
○ワークショップ開催(幼稚園、小・中学生対象)
　北海道立近代美術館等の会場で、具象絵画の印刷物に児童がそれぞれにアレンジを加え、「葉書」に自分の作品をつくり、各会場で出品作品とともに展示した。
○公開討論会(講師:出品作家･遠藤彰子氏他6名)
　北海道立近代美術館講堂で「具象絵画と教育」をテーマに話し合い、インターネットで公開。
○移動展示会場でギャラリートーク等を実施

巡回展（千歳展）

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　　業　　名	西区住民参加温故知新音楽劇　第10回記念公演事業		
主　　催　　者	西区住民参加温故知新音楽劇　第10回記念公演事業実行委員会 実行委員長　原　満		
事業分野／事業タイプ	教育・文化／催事	実施日時・場所	平成28年4月1日～8月15日 札幌市 生活支援型文化施設 コンカリーニョ
実　施　内　容			

○「マスト・ゴゥ・オン！―コンカリーニョ誕生秘話―」
　6/25　開演　13:00/18:00　　6/26　開演　11:00/16:00
　会場　生活支援型文化施設コンカリーニョ
　入場者739人(有料588人、招待151人)
　演出　斎藤ちず　　脚本　渡辺たけし　　音楽　橋本幸

　開設10周年を迎えた生活支援型文化施設コンカリーニョの成り立ちを、そこに住み着く妖怪家族というフィクショナルな存在を通して、過去９回公演の作品、劇中歌などをちりばめ、楽しく描いた。ちびっこゲスト４名、日替わりゲスト５名を含む総勢48名（４～77歳）が出演。

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	～北海道日独協会創立60周年記念行事～ 北海道とドイツ文化の邂逅		
主　催　者	北海道日独協会　会長　鈴木　重統		
事業分野／事業タイプ	文化・国際交流 ／催事・招へい	実施日時 ・場所	平成28年5月10日～10月31日 札幌市 京王プラザホテル札幌
実　施　内　容			

10/10　京王プラザホテル札幌

１．記念式典　【参加人数192人】

日独両国国歌(独唱：野中紅歩、伴奏：影山裕子)の演奏にはじまり、在日ドイツ連邦大使フォン・ヴェルトラン氏(代読：北大助教授グリュネワルト氏)、在札ドイツ連邦共和国名誉領事・生方誠司氏、日独協会理事・織田正雄氏の祝辞のあと北海道日独協会会長・鈴木重統の挨拶があり式典を終了。

２．記念講演会　【参加人数192人】

①木村直司(上智大学名誉教授)　新渡戸稲造とゲーテ
②シュラム(ミュンヘン大学名誉教授)　大野精七とドイツ
③大平由美子(元ベルリン芸大講師)　ピアノ弾き語り“ドイツ生活18年”

３．懇親パーティー　【参加人数68人】

鈴木会長の挨拶、生方名誉領事の乾杯で始まり、前南有氏のヴィオラ、野中氏の独唱等があり、川村副会長の締めの乾杯で終了。

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	北の映像ミュージアム開館５周年記念「シネマの風景」 フェスティバル「北のシネマ過去・現在・未来」		
主　催　者	NPO法人北の映像ミュージアム　理事長　佐々木　純		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年4月1日～7月31日 札幌市
実　施　内　容			

6/18～24（７日間）

○上映会「北のシネマ過去・現在・未来」

　会場　札幌プラザ２・５

　北海道をロケ舞台に製作された新旧の映画７作品を、過去・現在・未来のカテゴリーに分け、１週間にわたり上映。中でも1932年公開の無声映画「熊の出る開墾地」は現役活動弁士による生の活弁と生演奏つきの上映とあって、大好評を博した。また、ミュージアムに深い縁のある「大地の侍」は、今回の上映でも新たなファンを獲得し、感動の輪を広げた。会場には懐かしい「お煎にキャラメル」の売り子が登場し、映画黄金時代のポスターなどのロビー展示と相まって、映画黄金時代の賑わいが再現された。

○トーク　会場　札幌プラザ２・５

　特別ゲストやミュージアムの理事たちが上映作品に関連したテーマで語り、観客を大いに沸かせるとともに、上映作品への興味や理解を深める一助となった。

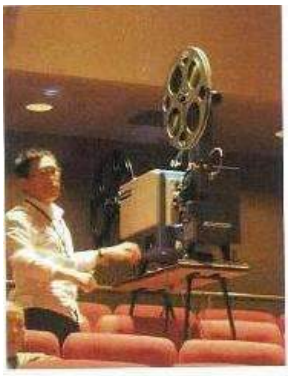
○映画お宝コレクション展

　会場　札幌プラザ2･5 ロビー、北の映像ミュージアム

　ミュージアム秘蔵のスチール、ポスター、原作本などの映画資料と、街並み画家・浦田久氏が描く往年の映画館のイラストを展示。ミュージアム本体では、数多くの北海道ロケ作品がある高倉健の主演映画を中心にポスター展を実施。

2階ロビー　ポスター展

2階ロビー　雑誌「東宝映画」



「美式天然」16ミリ映写機

客席　売り子

「熊の出る開墾地」弁士（坪川・森田）

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	「北海道新幹線開業記念」どさんこフェスタ in 函館 2016		
主　催　者	どさんこフェスタ in 函館開催実行委員会 実行委員長　池田　茂		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年4月1日～7月15日 函館市
実　施　内　容			

○どさんこフェスタ in 函館 2016
　6/12　10:00～15:00　緑の島（函館市大町）
・流鏑馬競技　全国大会「日本一決定戦」（オープン戦、一般線、団体戦、青函交流戦）
・体験乗馬
・フォトコンテスト
・各種出店販売
・餅まき
・来場者による「青函交流戦」勝利チーム投票くじ

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	北陸産瓦と北前船から辿る北海道の瓦史小論		
主　催　者	NPO法人 歴史的地域資産研究機構(れきけん) 代表理事　角　幸博		
事業分野／事業タイプ	文化／ 調査研究・その他	実施日時 ・場所	平成28年4月1日～29年2月28日 日本国内各地(道内･道外)
実　施　内　容			

１．「瓦」の産地に遺る関連資料(古文書、口伝等も含む)の調査

瓦産地と北海道を繋ぐ北前船海運から、瓦の技術移転に係る文献および現地調査(道外３件、道内２市１町)を実施し、道内に遺る北陸産瓦の所在先調査を行った。なお、所在先調査の方法は「瓦窯印(製造者を記す刻印)」の確認をその手段とし、北陸瓦生産地の特定を目的に進めた。

２．上記の技術移転の動向調査を基に、道内移住者の地域活動や郷里との関係調査

北陸瓦産地と輸送拠点(北前船の港)から、北陸人の北海道移住先における地域活動について札幌月寒、網走監獄、寿都「橋本家」の３カ所を重点的に調査し、北海道移入後の地域にもたらした技術や文化的影響の足跡調査を行った。

３．北前船と瓦積荷に関する調査及び取り纏め

「瓦」材の輸送条件(北前船による)の記録調査から、江戸期から明治期における輸送手段の調査として道外現地調査を行い、北前船による北陸産瓦の移出に関する新出資料の確認を行った。

伊藤組100年記念基金助成事業
平成28年度助成事業完了実績報告書

北陸産瓦と北前船に辿る北海道の瓦史小論

平成29年2月28日

特定非営利活動法人
歴史的地域資産研究機構

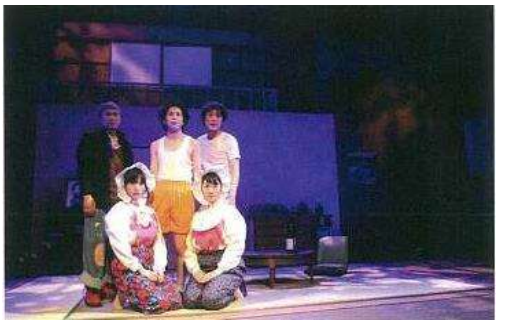
平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	ELEVEN NINES プレゼンツ co;dEBoo(コデブー)企画 第一弾公演『れっとうのはて』		
主　催　者	ELEVEN NINES(イレブンナイン)　代表　納谷　真大		
事業分野／事業タイプ	文化／催事・招へい	実施日時・場所	平成28年4月1日～6月18日 札幌市 生活支援型文化施設 コンカリーニョ
実　施　内　容			

○公演
日時：6/14～18　全６ステージ
会場：生活支援型文化施設コンカリーニョ(琴似)
脚本・演出：川尻恵太(Sugarboy)
出演：岩杉夏・氏次啓・江田由紀浩・亀井健・熊谷嶺・倖田直機・小島達子・
　　小島エレキ・戸澤亮・廣瀬詩映莉・川尻恵太

○ワークショップ
日時：5/28～30　全３日間　講師：川尻恵太



平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	札幌国際舞踏フェスティバル		
主　催　者	北海道コンテンポラリーダンス普及委員会 委員長　森嶋　拓		
事業分野／事業タイプ	文化／催事・招へい	実施日時・場所	平成29年2月5日～12日 札幌市
実　施　内　容			

日本発祥のダンスである「舞踏」を国内外に広く発信すべく、写真展、イベント(舞踏BAR)、ワークショップ、シンポジウム、公演を市内６カ所で開催。

シンポジウムでは東京と秋田より３名を招聘、舞踏公演ではスウェーデン、フランス、ドイツ、青森、東京、奈良、京都、屋久島、北海道、長野より８組(総勢17名)を招聘。

7/10　プログラム内容確定
8/10　広報計画確定
9/10　海外プロモーション計画確定
10/10　WEB、フライヤー完成
2/ 5　「札幌国際舞踏フェスティバル・オープニングイベント　舞踏BAR」
　　会場　Radio&Records
2/ 7～12　写真展「世界で変容する舞踏と北海道の舞踏展」　会場　葉柳
2/ 8　「スーエン　外国人向け舞踏ワークショップ(英語)」　会場　CONTE-SAPPORO
2/ 9　「雪雄子舞踏ワークショップ」　会場　CONTE-SAPPORO
2/10　舞踏シンポジウム「GLOBALとLOCAL」　会場　レンガの館
2/11～12　舞踏公演　昼13時　夜18時半　会場　コンカリーニョ
3/15　フェスティバル総括
〔来場者数〕写真展 約500名、イベント60名、ワークショップ30名、シンポジウム60名、公演438名

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	新琴似農村歌舞伎復活20周年記念事業		
主　催　者	新琴似歌舞伎伝承会　会長　遠山　奉夫		
事業分野／事業タイプ	文化／催事・招へい	実施日時・場所	平成28年6月16日～29年2月28日 札幌市 プラザ新琴似
実　施　内　容			

復活公演20周年の節目にあたり、周年事業(中学生対象歌舞伎公開講座・復活記念公演)を中学生と伝承会の共演により２回に分けて公演。

今回、生徒の歌舞伎への参加希望者は12名であり、年々増えてきている。演目は、毎年実施の「通称/白浪五人男」。いつもと違うのは五人衆の名調子などのほかに、捕手を五人増やし、セリフや立ち回り等動きを加えた。

中学生には役者３名・捕手５名・口上１名・裏方３名、伝承会会員は役者２名のほか15名程がそれぞれの配置につき、公演成功に向け一体となって取り組んだ。

○2/10　15:45開演　プラザ新琴似「大ホール」
〔第１部〕参加人数（鑑賞者数）は新琴似中２年・教員　約200名
〔第２部〕参加人数（鑑賞者数）は地域住民など約270名

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	第10回道南模型寄合展示会		
主　催　者	道南模型寄合どーなんよ　代表　竹原　勇二		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年5月1日～7月31日 北斗市 文化センターかなでーる
実　施　内　容			

6/25～26　２日間　北斗市文化センターかなでーる

・内容は模型展示会(制作した模型作品の展示、模型製作実演、ワークショップ)
　ワークショップ　体験型講座で、今回はガンダムの模型、プラ板アクセサリー、オーブン粘土を、実演を交えながらお客様に制作していただいた。
・作品展示参加者　30名
・展示作品数　1215点
・展示会入場者数　610名
・入場者中ワークショップ参加者　35名

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	山田耕筰生誕130年記念　～世紀をたどる歌のアンソロジー～		
主　催　者	声楽研究会<札幌ゾリステン・りら>　主宰　藤田　道子		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年11月19日 札幌市 ザ・ルーテルホール
実　施　内　容			

11/19(土)　18:30開演～20:30終演　ザ・ルーテルホール
○第１部　ロマン派の名曲
・献呈(R.シュトラウス)他、歌曲６曲
・友人フリッツより「この僅かな花」(マスカーニ)等、オペラ・アリア６曲
○第２部　山田耕筰生誕130年記念
・ピアノ連弾のための「KARATACHI」(八木幸三氏/2007年委嘱作品)
・山田耕筰生誕130年記念に寄せて(藤田道子)
・からたちの花(北原白秋作詞)、野薔薇(三木露風作詞)等、５曲
・中学生の合唱、待ちぼうけ(林光編曲)、赤とんぼ(源田俊一郎編曲)
・女声合唱コール・桑の実(賛助出演)と会場の皆様と共に、「この道」と「赤とんぼ」

前売りの状況から、当日券の販売を制限して開演、184名の参加人数。

〔制作物〕
・チラシ
Kitaraホール、ザ・ルーテルホール、サンプラザホール、、教育文化会館、時計台ホール、ちえりあ等で開かれた声楽演奏会を中心に配布
・プログラム
当日用260部、広報用40部、計300部
・山田耕筰歌曲全曲連続演奏会研究発表曲(1992-2016)一覧作成
・ビデオ作製、記録ＣＤ作成

第31回 札幌ゾリステン・りらコンサート　2016年11月19日 ザ・ルーテルホール

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	第１回 高次脳機能障がい者臨床美術(クリニカルアート)作品展		
主　催　者	特定非営利活動法人コロポックルさっぽろ 代表理事　中野　匡子		
事業分野／事業タイプ	文化／催事	実施日時・場所	平成28年6月24日～29年2月15日 札幌市
実　施　内　容			

1/30～31　札幌駅前通地下歩行空間(憩いの空間E-4.5.6)
・クラブハウスコロポックルとコロポックルレディースで製作した作品の展示
・NPO法人コロポックルさっぽろの活動紹介
・臨床美術の紹介
・臨床美術「ほっかいどう」の活動紹介
・高次脳機能障害の理解を呼びかけるパンフレットの配布
・茅原ゆかり氏（当事者でありながら臨床美術士３級、高次脳機能障がい者通所施設で臨床美術セッションを行っている）のパネル展とミニ講演会
※チラシは3000枚印刷、コロポックル会報にて1200枚発送。その他、各区役所、保健所等、関係機関36カ所に10枚ずつ発送。
11/22　道新ウェブサイトに情報掲載
　　国立リハ高次脳機能障害情報、支援センターのイベント情報に掲載
1/25　道新オントナに掲載
1/27　道新(地方版)札幌10区に掲載
2/10　道新(地方版)札幌10区に掲載

平成２８年度　助成事業の記録〔ビジュアル編〕

（敬称略）

事　業　名	北海道日米協会「国際ユースフォーラム・札幌大会」他事業		
主　催　者	北海道日米協会　会長　伊藤　義郎		
事業分野／事業タイプ	教育･文化･産業･国際交流／催事･調査研究･招へい	実施日時・場所	平成28年9月1日～11月30日 札幌市 札幌国際ビル８階 国際ホール
実　施　内　容			

○11/13　国際ユースフォーラム・札幌大会
13時半～17時　札幌国際ビル８階　国際ホール
主催：北海道日米協会　　共催：北海道国際交流･協力総合センター(HIECC)
後援：在札幌米国総領事館
■第１部　講演会
ゲスト・スピカー：エリック・ジョンストン氏
(国際ジャーナリストでThe Japan Times次長)
「異文化理解」に関して講演し、若者60数名、道日米協会会員と関係者40数名が参加。
■第２部　若者と道日米協会会員とで講演およびグループ・ディスカッション
〔参加〕レイチャル・ブルーネット-チェン氏(在札幌米国総領事館・新首席領事)および御主人のペリー・チェン氏(外交官)、北海道札幌国際情報高校、札幌聖心女子学院、北海道インターナショナルスクール(HIS)、北海道大学、札幌大学、小樽商科大学他
〔協力〕当協会ﾍﾞﾃﾗﾝ会員およびﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ関係者
〔提供〕日米友好親善記念バッジの無料配布(首席領事のご好意で若者の参加者全員に対し)。道内企業から飲料等の無料提供(北海道コカ･コーラボトリング社、石屋製菓、㈱ロイズ)。
○11/13　18時～20時　歓迎会・講演会
京王プラザホテル札幌２階「ローズルーム」